



2020年9月10日

各 位

会社名 株式会社 ユークス
(コード番号 4334)
代表者名 代表取締役社長 谷口 行規
問合せ先 常務取締役 品治 康隆
電話番号 072(224)5155 (代表)

業績予想の修正および営業外費用(為替差損)計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年3月13日に公表した2021年1月期(2020年2月1日～2021年1月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年1月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2020年2月1日～2020年7月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	1,109	△68	48	36	4.25
今回修正予想(B)	1,007	△226	△369	△368	△42.65
増減額(B-A)	△102	△157	△417	△405	—
増減率(%)	△9.2	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年1月期第2四半期)	2,748	5	80	60	6.99

2. 2021年1月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年2月1日～2021年1月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,741	58	177	147	17.08
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年実績 (2020年1月期)	3,928	△527	△342	△648	△74.92

3. 修正の理由

(1) 第2四半期(累計)期間

新規案件の受託による売上高の増加要因はありましたが、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、2020年4月に予定しておりました「AR performers」の興行が延期となったこと、また受託案件の検収時期の遅れや見直しが発生したこと等による売上高の減少要因が大きく影響し、売上高は予想を下回る見通しとなりました。

利益面においても、上記の影響に加え、テレワーク体制等に伴う作業効率の悪化により原価率が上昇した結果、営業利益は予想を下回る見通しとなりました。

また、営業外費用において、為替相場の変動による為替差損173百万円の発生等により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を下回る見通しとなりました。

(2) 通期

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、現時点において合理的に算出することが困難なため、未定といたします。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、2021年1月期の期末配当につきましては、2020年3月13日公表の1株あたり10円の予想から変更はありません。

4. 営業外費用の内容

上記3.(1)に記載のとおり、営業外費用として為替差損173百万円を計上することとなりました。

以 上